

おはよ

兵庫県障害児学校教職員組合（障教組）
神戸市中央区北長狭通5丁目2-10
高教組内 Tel:078-341-6745

緊急発行 No.9 2020.8.31 全職員版

動画を県でデータベース化するために 1,000万円のサーバー 各校に協力要請

コロナ対策で各校に令達した500万円から40万円ずつ等分負担で？

突然の計画変更！ 8月末までに計画提出？

県教委特別支援教育課
8月27日校長会で
突然の依頼

残暑厳しい中での2学期スタート。いきなりビックリするようなことが進められようとしています。多くの学校で臨時休校中に、何か子どものためにしてやりたいと動画を作って支援に活用されていました。それを他校でも視聴できたり、今度の支援に役立てたりするために、県で集めてデータベース化するという計画が突然告げられました。それを可能にするためのサーバーを1,000万円で準備をしたい。財源として各校に令達した500万円から40万ずつ予定してほしいというのです。

動画作成 そんなつもりではなかったのでは？

そもそも動画は自分の学校の子供達に、休校中でも少しでも笑顔になってほしい、体を動かして元気でいてほしいという願いで作成されました。のちのちそれをデータベース化して県の「共有財産」にするという話は聞いていません。特総研で合理的配慮の事例を集めてデータベースを作るときにも、様式に沿って何度もみんなで検討し、個人が特定されないように配慮し、起案を挙げるなど慎重な手続きを踏んで行われました。今回は初めに何も聞いてないし、「いいものができたから」と後出して利用されようとしています。しかも、障害種別によっては効果が難しいという判断で、複数の学校で動画は作成されていません。プライバシーの問題もあり、もっと慎重に対応してほしいです。

いったん配分したものからなぜ40万突然に？

さらに「各校から40万円」の問題です。国の補正予算で「コロナ対策」に使うものとして、500万円が各校に6月中旬に令達されました。組合にも、感染拡大防止につながるものを学校独自で工夫して使えるものという説明を県はしていました。その計画提出、最初の通達では「7月末、9月末、11月末」としていました。各校ではじっくりみんなで考えて有効なものを考えていました。日頃なかなか「お金がない」と

節約していた中で、感染予防、学習支援に学校で準備したいものはいっぱいあって、500万でも足りないぐらい。それなのに突然 40 万円の実質減額、「8 月末までに提出」とか突然思いつきのような政策につき込まれようとしています。

皆さん 納得できますか？

8 月 20 日 特支課長

「今後も現場の声をよく聞いて、コミュニケーションを大事にしていきたい」

8 月 20 日、障教組役員と特支課長とで懇談を持ち、この間の（教科書郵送、Classi、スクールバス増車など）施策について意見交換しました。私たちからは現場の混乱や多忙、また保護者から聞いている声なども届けました。その会議で最後に確認できたことが上の言葉です。

それなのにいきなりこの混乱です。本当にこの施策が子どものために、それも多額の税金を投入して今必要なんでしょうか？

私たちは、納得できない計画の拙速な導入には反対します。

今こそ現場の声を聞いてほしい。強く訴えます。



ひとり一人を大切にする学校をいっしょに作りましょう
ひとりの願いをみんなの願いに 組合に入りましょう！

お待たせしました

誰でも参加できます ZOOM での学習会



9 月 12 日（土）10 時～11 時半

テーマ「破壊行動のある子どもの支援 実践から学ぼう」

パニックになると、教師のメガネを壊し、ラジカセを壊してしまう中 2 の生徒…本人には理由があると言えども許容できる行為ではありません。どう向き合い、どう支援していけば良いのでしょうか？参考に使ってほしいのは、東京のベテラン先生佐藤比呂二先生の実践です。現在、雑誌「みんなのねがい」にも「出会いはタカラモノ」というテーマで、暖かい実践研究を連載されています。みんなで学んで語り合って、2 学期元気にスタートしましょう。たくさんの参加お待ちしております。

申し込みは下記まで 参加表明していただければ、ID とパスワードをお伝えします。

初めての方も、スマホでも OK。気軽に参加してみてください。

Mail: ayakko8996@gmail.com